



# 新潟大学医歯学総合病院

Niigata University Medical & Dental Hospital

臨床研修プログラム



病院見学随時受付中! 病院見学はいつでも受付しております。

■ 申込方法 新潟大学医歯学総合病院総合臨床研修センター HP 病院見学よりお申込ください。

<http://www.nuh.niigata-u.ac.jp/kenshu/>



研修センターがご希望にそって各診療科と調整します。全国の皆様からのご参加お待ちしております!

お問合せ、お申込は



新潟大学医歯学総合病院 総合臨床研修センター

〒951-8520 新潟市中央区旭町通1番町754

TEL 025-227-0728 FAX 025-227-0973 e-mail ctc@med.niigata-u.ac.jp

<http://www.nuh.niigata-u.ac.jp/kenshu/>

# MESSAGE



総合臨床研修センター長  
成田 一衛

*Shigenori Narita*

## 研修センター長からのメッセージ

これから研修を始める皆さんは、それぞれ多様な希望とニーズをもたれていることでしょう。臨床研修では、是非ご自分の将来像を考えながら、希望に合致する研修先を見つけて下さい。さて、新潟大学医歯学総合病院での研修にも、実に多くの特徴とメリットがあります。私達が特に力を入れている点を4つ紹介します。参考にして下さい。

### 〔自ら構築する自由度の高いプログラム〕

大学病院を中心とする専門の先端医療技術から、臨床各分野の典型例を豊富に経験できる協力型病院、地域医療研修まで、幅広い研修を実現します。多種多様な医療現場を体験でき、多くの職種やスタッフとの連携を深める機会があります。一方で、大学病院だけで研修し、医学研究への接点をより多くするコースも用意しました。専門重点から総合診療まで、自分の希望に添った自由度の高いプログラムを設定します。皆さんのロールモデルとなる指導医に必ず出会えると思います。

### 〔指導体制充実(専門医制度への移行も問題ありません)〕

全ての診療科と領域の専門医がそろっていて、common diseaseから稀少性疾患、高度先進医療まで幅広く体験できます。研修期間中の学会発表や、国際的なセミナーへの参加も可能です。様々な体験型講習なども充実しています。

### 〔多くの仲間〕

全国の大学から研修医が集まります。研修医による研修医のためのセミナー・勉強会も行われています。独立した研修医室を完備しています。

### 〔専任スタッフ〕

自由度が高い、希望に添うプログラムを実現するため、専任スタッフが皆さんのキャリア形成のため、大学を中心とした病院群の研修プログラム・研修環境の整備運営、きめ細かい改善を行い、皆さんの研修を支援します。

## CONTENTS

研修センター長からのメッセージ	01
研修プログラムのPOINT	03
研修プログラムの紹介	05
研修医からのメッセージ	08
診療科紹介	09
協力型臨床研修病院紹介	17
大学病院研修レポート	23
協力型・地域医療研修	24
地域医療研修病院の紹介	25
教育指導体制	26
施設案内・サポート環境	27
新潟医療人育成センターの紹介	29
研修医処遇・奨学金	30
女性医師サポート	31
専門研修へのつながり	32
Q&A	33
交通機関のご案内	34

# 自らが構築してゆく 研修プログラムで成長する

POINT

1

## 3病院のいいところ取り プログラム!

当院の研修プログラムでは、大学病院と協力型病院、地域医療研修病院という役割・特性の違う3つの病院を経験できます。それにより、豊富な教育資源・手厚い指導陣の下で基礎からしっかりと学べる大学病院研修と、プライマリや手技等のスキル面の研修をより重点的に行える協力型・地域医療病院研修のメリットを併せ持ったプログラムとなっています。

POINT

2

## あなたの理想を叶える 自由なプログラム!

当院の研修プログラムは、自由選択科目の選択期間を最大12ヶ月にすることができ、1人1人が自分の目的にあった研修プログラムを組み立てることができます。

また、当院は19の基本領域全ての診療科を備えているため、専門研修へとスムーズに移行することができます。将来の専門科が決まっている人、いろんな診療科を経験してから専門科を決めたい人など、当院の門戸はあらゆる人に開かれています!



POINT

3

## アカデミックな 研修環境!

新潟大学病院では、非常に豊富な医師数を生かした懇切丁寧な手厚い指導を受けることが可能です。大学病院ならではの多様な症例や先進的な医療、最先端の臨床研究だけでなく、基礎的な知識や技術についてもしっかりと学ぶことができます。

また、24時間利用可能なシミュレーターや研修医勉強会、ランチョンカンファレンスなど、みなさんの学びをサポートする環境も万全です。ローテーションの調整や普段の研修生活まで、スタッフがしっかりサポートいたします。

POINT

4

## 共に成長できる かけがえのない 仲間!

研修開始から最低でも6ヶ月間は全員が大学病院で過ごします。そのため、出身大学に関わらず同期との連帯感が生まれやすく、研修の情報交換、研修医主体の勉強会やセミナーが行えるといったメリットもさることながら、互いに教え合い、励まし合い、支え合える仲間が得られます。

# 研修プログラムの紹介

新潟大学医歯学総合病院研修プログラムがより自由に、より選びやすく変わりました！



## 一人ひとりのニーズに合わせて設定できる「自己設定研修プログラム」を中心とした3つのプログラム

「自己設定研修プログラム」は、自由選択期間を**最大12ヶ月間**に設定できます。

これは数ある病院の研修プログラムの中でもトップクラスの長さです。

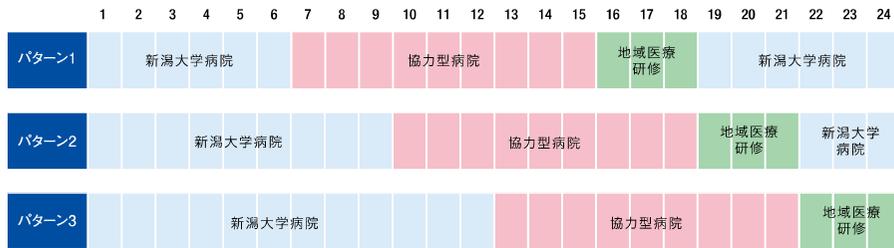
将来の専門科が決まっています、特定の診療科を重点的に研修したい人や、まだ将来の専門科が決まっておらず、色々な診療科を経験してから専門科を決めたい人など、様々なキャリアプランに対応できるプログラムです。

「自己設定研修プログラム」の他に、「産婦人科重点研修プログラム」、「小児科重点研修プログラム」もあります。

## 選べる研修パターンは3種類！

研修は全員が大学病院から開始しますが、3つのプログラム共通で、協力型病院に移る時期を研修開始後6ヶ月、9ヶ月、12ヶ月後の3パターンから選べます。(下図)

これによって、大学病院での多数の指導医による手厚い指導でしっかり基礎を固めてから協力型病院に移りたいという人にも、早めに大学病院を出て、協力型・地域医療研修病院を経験し、改めて大学病院に戻りたいという人にも柔軟に対応することができます。



(□ は新潟大学病院、□ は協力型病院、□ は地域医療研修)

### 自己設定 研修プログラム

- ・自由度が高く、研修科目・期間の設定によりどのような進路やキャリア形成にも対応可能。
- ・最大12ヶ月間自由選択として希望診療科研修可能。
- ・進路が未決定であっても十分に対応が可能。

内科 6ヶ月	救急 3ヶ月	選択	選択	地域 3ヶ月	自由選択
厚生労働省必修科目					

※上図は必修科目より記載していますが、順番は研修医自らの希望で変更できます。

研修科目	研修期間	研修診療科
内科	6ヶ月	内科:大学病院の循環器内科および血液・内分泌・代謝内科、腎・膠原病内科、呼吸器・感染症内科、消化器/肝胆膵内科、神経内科、および協力型臨床研修病院の各内科系診療科
救急	3ヶ月	大学病院高次救命災害治療センターまたは協力型病院救急研修担当科
選択必修	2ヶ月以上	(1科目1ヶ月以上、2科目研修) 選択必修2科目:外科系、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科 外科系:大学病院の消化器外科/乳腺・内分泌外科、心臓血管外科/呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、および協力型病院の各外科系診療科のうち選択必修として認められるのは1科目です。
地域医療	1~3ヶ月	地域医療研修病院
自由選択	10~12ヶ月	大学病院全診療科、協力型病院選択可能診療科、地域医療研修病院(自由選択として)

## あなたのオリジナル研修プログラムに！

### アレンジ例

将来の専門科が  
すでに決まっ  
ている方  
(例:精神科)

1年次						2年次		
精神科 3ヶ月	救急 3ヶ月	腎内 2ヶ月	消内 2ヶ月	血内 2ヶ月	外科 小児	精神科 3ヶ月	地域	精神科 6ヶ月
新潟大学病院			協力型病院			地域	新潟大学病院	

色々な診療科を  
研修してみたい方・  
まだ将来の専門科が  
決まっていない方

1年次						2年次					
救急 3ヶ月	麻酔 2ヶ月	小児 2ヶ月	泌尿 2ヶ月	眼科 2ヶ月	血内 2ヶ月	循環器 2ヶ月	消内 2ヶ月	産婦 2ヶ月	精神 2ヶ月	外科 2ヶ月	地域 3ヶ月
新潟大学病院						協力型病院				地域病院	

内科を重点的に  
研修したい方

1年次						2年次		
消内 3ヶ月	呼内 2ヶ月	神経 2ヶ月	循環器 3ヶ月	救急 3ヶ月	精神 2ヶ月	麻酔 2ヶ月	内科 6ヶ月	地域 3ヶ月
新潟大学病院						協力型病院		地域病院

外科を重点的に  
研修したい方

1年次						2年次					
消化器 外科 3ヶ月	消内 2ヶ月	神経 2ヶ月	整形 3ヶ月	救急 3ヶ月	小児 2ヶ月	麻酔 2ヶ月	呼内 3ヶ月	耳鼻 3ヶ月	地域 3ヶ月	心臓外科 3ヶ月	
新潟大学病院						協力型病院			地域病院	新潟大学病院	

# 研修プログラムの紹介

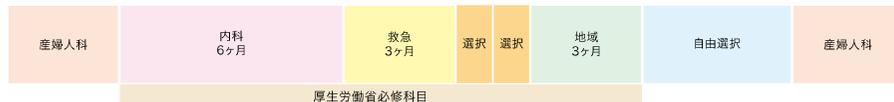
# 研修医からのメッセージ

研修プログラムを修了した先生から研修を振り返ってメッセージをいただきました。



## 産婦人科重点 研修プログラム

- ・将来の専門研修科を産婦人科に決めている研修医向けプログラム。
- ・産婦人科研修3ヶ月で開始し、産婦人科研修3ヶ月で修了することで、専門研修への円滑な移行が可能。
- ・希望科と相談しながら、スケジュールを決めることが出来る。

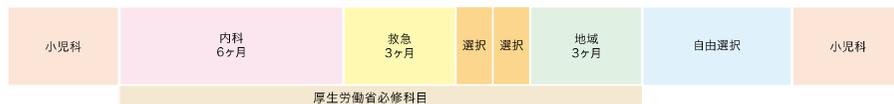


※上図は必修科目より記載していますが、順番は研修医自らの希望で変更できます。(ただし、産婦人科の順番は固定)

研修科目	研修期間	研修診療科
内科	6ヶ月	内科：大学病院の循環器内科および血液・内分泌・代謝内科、腎・膠原病内科、呼吸器・感染症内科、消化器/肝胆膵内科、神経内科および協力型臨床研修病院の各内科系診療科
救急	3ヶ月	大学病院高次救命災害治療センターまたは協力型病院救急研修担当科
産婦人科	6ヶ月	大学病院産婦人科(研修開始直後3ヶ月、修了直前3ヶ月の研修)
選択必修	2ヶ月以上	(1科目1ヶ月以上、2科目研修) 選択必修2科目：外科系、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科 外科系：大学病院の消化器外科/乳腺・内分泌外科、心血管外科/呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、および協力型病院の各外科系診療科のうち、選択必修として認められるのは1科目です。
地域医療	1～3ヶ月	地域医療研修病院
自由選択	4～6ヶ月	大学病院全診療科、協力型病院選択可能診療科、地域医療研修病院(自由選択として)

## 小児科重点 研修プログラム

- ・将来の専門研修科を小児科に決めている研修医向けプログラム。
- ・小児科研修3ヶ月で開始し、小児科研修3ヶ月で修了することで、専門研修への円滑な移行が可能。
- ・希望科と相談しながら、スケジュールを決めることが出来る。



※上図は必修科目より記載していますが、順番は研修医自らの希望で変更できます。(ただし、小児科の順番は固定)

研修科目	研修期間	研修診療科
内科	6ヶ月	内科：大学病院の循環器内科および血液・内分泌・代謝内科、腎・膠原病内科、呼吸器・感染症内科、消化器/肝胆膵内科、神経内科および協力型臨床研修病院の各内科系診療科
救急	3ヶ月	大学病院高次救命災害治療センターまたは協力型病院救急研修担当科
小児科	6ヶ月	大学病院小児科(研修開始直後3ヶ月、修了直前3ヶ月の研修)
選択必修	2ヶ月以上	(1科目1ヶ月以上、2科目研修) 選択必修2科目：外科系、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科 外科系：大学病院の消化器外科/乳腺・内分泌外科、心血管外科/呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、および協力型病院の各外科系診療科のうち、選択必修として認められるのは1科目です。
地域医療	1～3ヶ月	地域医療研修病院
自由選択	4～6ヶ月	大学病院全診療科、協力型病院選択可能診療科、地域医療研修病院(自由選択として)

## 3つの異なる規模の病院で 得た経験

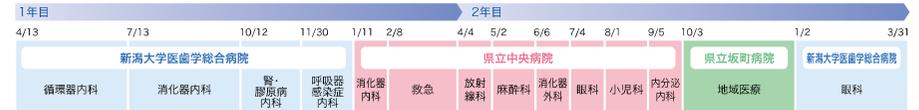
長谷川 友加里 先生  
秋田大学卒  
平成27年度研修医



私は埼玉県出身で秋田大学を卒業し、縁があって新潟で働くことになりました。研修先は他大学出身の同期も多く、たすきかけ制度がある大学病院を選びました。振り返ってみて有意義な研修が出来たと満足しています。大学病院では珍しい症例を経験でき、学会発表の機会も多く頂けて、非常に勉強になりました。指導医が多く、勉強の仕方など基本から丁寧に教えて頂きました。また各医局の雰囲気分かり、自分が入局後のイメージもしやすくなったと思います。

県立中央病院は地域の中核病院ならではの救急外来が印象的でした。軽傷から重症まで幅広い程度の患者が来る環境で、研修医が自分で考えて対応する事ができました。また指導医へ相談する体制が整っており、安心感もありバランスが良かったと思います。坂町病院では住診や一般外来を行い、患者の家族や生活環境の事も考えた医療を学ぶことができ、医師と患者の間の強い信頼関係を感じました。これらの異なる環境で、多くの尊敬する人に出会えて、色々な事を学ばせて頂けて、大変楽しい2年間でした。これから研修を始める方は、どこかの病院にしようか、どの科に進もうか、と悩む事も少なくないと思います。良く考えて選択する事はもちろん重要ですが、どこに行ったとしても結局は本人の努力次第ではないかと思っています。やる気に応えてくれる環境は十分にあるので、人との出会いを大切に、充実した研修を遂げて頂けたらと思います。

## ●研修ローテーション



## 目指す専門科に特化した研修

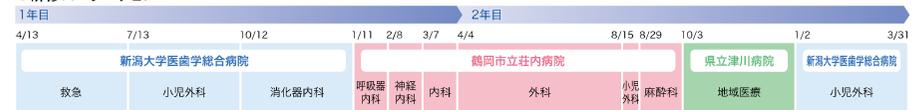
斎藤 浩一 先生  
山形大学卒  
平成27年度研修医



私は、学生の時から小児外科に強い興味がありました。そのため、研修プログラムも最大限に小児外科を研修できるように組み、また、一般的な外科知識も必要だと考え、その他の期間でも外科で研修できるようなプログラムとしました。初期研修2年間のうち小児外科を6.5ヶ月も研修しており、かなり特殊なパターンかと思えます。初期研修は、将来専門としない分野も含め幅広い研修ができることが大きな魅力の一つです。研修期間中に専門分野を決めていきたいと考えている人には良い環境だと思います。しかし、私のように将来の専門分野をほぼ決めている

人には、早いうちから専門知識を少しでも多く吸収していきたい、と考えている人もいます。大学病院の研修は自由に選択できる期間が多く、また多くの診療科が揃っており、そのような研修するには適した環境です。もちろん、必修科目もあるため、医師として最低限の内科や救急の知識は十分に研修を詰めるため、その点は心配することはありません。また、研修先の診療科の許可を得れば、後日研修プログラムを組み直すこともできるため、途中で将来のビジョンが変わってきた場合も対応できます。実際、私も研修開始時に考えていたより更に外科よりの研修内容になっています。大学の研修プログラムは自由選択枠が多く、各々が思い描くような研修ができると思います。どんな研修内容でも間違いはないと思いますし、初期研修の2年間だけでは、その後の医師人生は決まりません。自分自身がどのような研修をしたいのかを考え、自分自身の目標を実現していただければと思います。

## ●研修ローテーション



# 診療科紹介

全ての診療科で最先端の医療・医学を勉強できる環境で成長する。

## 新潟大学医歯学総合病院 研修可能診療科一覧

診療科等	内科必修科目 (6ヶ月)	選択必修科目 (2科目)	救急研修 (3ヶ月)	自由選択
循環器内科	●			●
血液・内分泌・代謝内科	●			●
腎・膠原病内科	●			●
呼吸器・感染症内科	●			●
消化器内科	●			●
神経内科	●			●
腫瘍内科				●
精神科		●		●
小児科		●		●
消化器外科、乳腺・内分泌外科		●		●
心臓血管外科、呼吸器外科		●		●
整形外科		●		●
形成外科		●		●
小児外科		●		●
脳神経外科		●		●
皮膚科		●		●
泌尿器科		●		●
眼科		●		●
耳鼻咽喉科		●		●
産科婦人科		●		●
放射線科				●
麻酔科		●		●
高次救命災害治療センター			●	●
総合リハビリテーションセンター				●
病理部				●
血液浄化療法部				●
光学医療診療部				●
医科総合診療部				●

※上記の科目に適用となる診療科は本院での研修のみです。協力型病院では研修可能診療科は異なります。

## 診療科紹介

### ■ 循環器内科

- 心エコー、血管エコーの会得
- 心電図の診断・正しい解釈の会得
- 救急の診断・治療・管理の会得

初期研修はその後の医師として姿勢を決定づける大切な期間だと考えます。先進的循環器診療と研究を行う志の高い指導医たちのもと、循環器内科の手習いとして、心音聴診・心電図・心エコーなどで1人でも有益な情報を得られる力をつける一方で、急性心筋梗塞・急性心不全・致死的不整脈といった重篤な疾患の急性期から退院までのチームマネジメントを経験することで、医師としての姿勢を確立し自信を深めてもらいたいと思います。



### ■ 腎・膠原病内科

- 高血圧などの生活習慣病の管理
- 輸液管理をマスターできる
- 腎不全から腎炎まで治療できる

腎臓疾患・透析医療・高血圧・糖尿病・リウマチ膠原病などを主な対象とし、急性期から慢性疾患に至るまで広範な分野にわたり、患者中心の医療の実践と医学の進歩に貢献することを目指しています。輸液療法や電解質補正など全身管理の基本から各分野の最先端治療まで学ぶことができ、まさに“総合力”と“専門性”の両立を体験できます。優しい指導医や担当医とともにチーム医療を実践し、充実した初期研修を行うことができます。



### ■ 血液・内分泌・代謝内科

- 真の総合診療医になれる
- 生活習慣病から腫瘍まで診断できる
- 最新の治療をマスターできる

白血病・リンパ腫・多発性骨髄腫などの悪性腫瘍から糖尿病などの生活習慣病・内分泌疾患・動脈硬化疾患まで幅広くカバーする総合内科的性質が強い内科です。希望に応じて各分野の専門医を目指すことも、複数分野を包括的に学ぶことも可能です。地域現場を大事にしつつ、診療・研究とも国際レベルを目指し、「大学医局」のイメージを一新した個性と自主性重視の自由な雰囲気の中で、多くの仲間と楽しく研修ができます。特に多様な進路やゴールに対応できる個人別研修コース設定が好評です。



### ■ 呼吸器・感染症内科

- 胸部レントゲンが読める
- 呼吸管理ができる
- 抗菌薬の使い分けができる

呼吸器・感染症内科は市中肺炎、気管支喘息・COPDといった common diseaseから、肺腫瘍、びまん性肺疾患や免疫不全患者の日和見感染症、さらには重症症例の呼吸管理など幅広い領域を取り扱うことが特徴です。各分野の専門医の適切な指導のもと、より多くの知識・経験を得る絶好の機会です。また呼吸器・感染症以外の科を志す医師にとっても呼吸器・感染症内科での研修は将来必ず役に立ちます。



■ 消化器内科

- 腹部エコー
- 胃カメラのトレーニング
- 腹水穿刺などの基本手技も

当科では“総合消化器内科医”の育成をめざし、消化器内科のみならず内科全般に通じる診断力の養成と基本手技の習得、および患者の視点に立ったチーム医療を実践できるよう、各消化器領域の専門医が指導しています。研修では肝、胆、膵、上・下部消化管の消化器疾患全般を対象に、チームの一員として診療に参加しながら、上部消化管内視鏡検査や腹部超音波検査などの基本的な消化器検査の実技研修や、重症・難治性消化器疾患に対する高度専門的医療も経験できます。



■ 神経内科

- 多彩な訴えに強くなる
- 問診に強くなる
- 意識障害に強くなる

神経学を極めることはGeneralistへの近道です。神経疾患の訴えは非常に多彩です。意識障害、失神、けいれん、めまい、認知障害、頭痛、ふるえ、しびれ等、皆さんが必ず遭遇する訴えへの対処が学べます。また社会的背景、心理的背景への配慮も学べます。定期的な臨床病理検討会もあります。新潟大学は全国唯一の脳研究所をもち、神経学が強い大学です。是非、当科で神経内科医療に触れて下さい。(詳細はHP「新潟大学 神経内科」で検索)



■ 小児科

- 疾患への系統的アプローチのマスター
- 診察、採血等の手技のマスター
- 専門性の高い医療を経験できる

総合診療・感染症、腎臓、血液・悪性腫瘍、循環器、内分泌代謝、NICUの6つグループで、専門性を生かした診療を行っています。各グループの一員として入院患者の診療に関わり、外来では診察、採血等の手技を学ぶことができます。毎朝、症例カンファレンス等を行い、全身疾患を扱う小児科として、問診・診察・検査・診断・治療といったプロセスを勉強できます。海外からの招聘医師との関わりが多いことも特徴です。IDEAを持ち続ける小児科医がお待ちしております。



■ 消化器外科、乳腺・内分泌外科

- 外科手術を執刀できる
- 内視鏡手術に参加できる
- 外科専門医を目指す

新潟医学専門学校創立当初の外科学教室として開設以来、技術の高い信頼できる外科医を育成・輩出してきました。現在、消化器・一般外科として、主に上部消化管、下部消化管、肝胆膵・移植、乳腺・内分泌・代謝の4つを担当領域の主軸として科を形成しています。新しい外科技術を駆使できる応用力、チーム医療をリードする協調性と指導力、Academic surgeonを目指す学術的な推進力、こうした要素をもてる人材を一人でも多く育成できるように、当科医師一人ひとりが外科診療・指導にあっています。



■ 腫瘍内科

- がん薬物療法ができる

当科ではがん薬物療法に関わる知識と技能を習得し、将来的にがん薬物療法専門医の資格を取得することを目標としています。さらに卒後臨床研修修了者は、悪性腫瘍や分子標的治療薬に関わる研究に取り組み、博士号取得を目指します。がん薬物療法は固形腫瘍全般を扱うため、研修期間に他診療科または他施設で経験を積むことも奨励します。また、病院で実施されるがんサポーターに積極的に参加することで、腫瘍全般に関わる知識を深められます。



■ 精神科

- 医療面接の上達
- 最新の精神科診断学が学べる
- 脳画像、心理検査所見の習熟

「臨床を重視し、その中から問題を発見して、自ら科学的に解決する」一この姿勢を大切に、臨床・教育・研究に取り組んでいます。精神医学は社会との密接なつながりを実感できるやりがいのある領域です。精神医学への期待や社会的な役割は年々増えています。子供から高齢者まで幅広い年齢層にニーズのある医学分野です。精神科医としての専門や「やるべきこと」「やりたいこと」を臨床や研究、社会との関わりの中で見つけていきましょう。



■ 心臓血管外科、呼吸器外科

- 胸腔ドレーン挿入ができる
- 開胸・閉胸ができる
- 血管吻合トレーニングができる

病棟は、小児心臓外科、成人心臓血管外科、呼吸器外科の3チームに分かれており、研修医が興味を持っている分野での研修が可能です。チーム医療が基本で、常に指導医や修練医と診療を行い、外科的な考え方や手技を重点に研修を行う。但し、研修医であっても個々の能力によっては、術者として手術を行う機会を与えます。症例は豊富で多くの手術を経験でき、外科専門医取得を目指す研修医は、研修期間によっては、当科が担当する外科専門医申請に必要な1~2領域の症例数を全て経験することが可能である。



■ 整形外科

- 骨関節X線画像の読影ができる
- 外傷の基本的な初療アプローチの習得
- ギプス、シーネの固定法の習得

腫瘍、脊椎・脊髄、下肢関節、リウマチ、手の外科、外傷(高次救命災害センター)の専門分野からなり、幅広い年代の患者に対応しています。また、サッカーJ1アルビレックス新潟のサポート等、スポーツ医学も行っていきます。専門領域は自由に選択でき、希望に沿ったプログラムを用意しています。レクリエーション活動(運動会、部活動等)にも積極的に取り組んでいます。手術の需要も増加しており、救急外傷の現場でも患者数が最も多く、ぜひ研修をしていただきたい分野です。



## ■ 形成外科

### ●ここにしかないものがある

「切る、剥離して寄せる、縫って閉じる」は手術の基本操作で、いかに確実に行えるかが手術結果を左右します。形成・美容外科ではこれらの基本手技に加え、形態のバランスと美しさ、そして機能を兼ね備えた再建を研修医時代から心がけます。将来外科系などの科を選択する場合でも、当科で基礎を研修することは、より完璧な手術結果を目指すスタートラインとなり得ます。



## ■ 脳神経外科

- 研修医でも脳神経外科手術ができる
- 血管内治療（カテーテル）検査ができる
- 急変・急患対応に強くなる

脳神経外科は、神経診療における幅広い知識と技術の習得を目的としています。多岐にわたる脳腫瘍、脳血管障害、小児奇形、機能外科、脊椎外科、神経外傷などの疾患の診断・治療法を日常診療や検討会を通して学んでもらいます。研修医が身につけるべき基本手技は勿論のこと、積極的に手術や脳血管撮影にも参加してもらい脳神経外科の治療の醍醐味を感じてもらいます。さらに、研修の一環として学会への参加や発表も経験してもらいます。



## ■ 小児外科

### ●小児の全身管理が習得できる

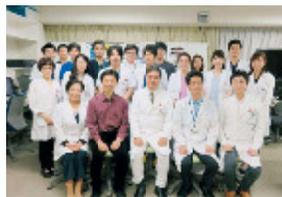
新生児から15歳までの外科的疾患を広く診療しており、ヘルニア、虫垂炎といったcommon diseaseだけでなく、新生児疾患、肝胆道疾患、小児固形悪性腫瘍と疾患は多岐にわたります。稀少疾患が多いため、エッセンスの理解には、ある程度長期の研修が必要です。各疾患の病態、治療法、周術期管理だけでなく、外科治療の必要な御両親への精神的サポート、長期入院の子供へのケアも学習します。小児外科疾患の臨床経験は、どの診療科に行っても役立つバックボーンとなります。



## ■ 皮膚科

- 皮疹が理解できる
- 皮膚外科手術ができる
- 皮膚病理が読める

皮膚科では皮膚や粘膜に生じる数多くの疾患の診療をしており、それらは接触皮膚炎やアトピー性皮膚炎といった日常的に遭遇するものから、膠原病などの内科的疾患や皮膚悪性腫瘍という外科的な疾患までとても幅広いものとなっています。また、患者さんは小児から高齢者の全ての年齢層が対象です。将来的に皮膚科の専門医になることを考えている方もそうでない方も、皮膚疾患に興味のある方はぜひ当科での研修をお待ちしています。



## ■ 泌尿器科

- ラパロ手術をマスターできる
- ダヴィンチ手術ができる
- 腎植ができる

新潟大学医学歯学総合病院泌尿器科での初期研修は、泌尿器科を専攻する意識を持った研修医に対して行うことを前提としています。経尿道的内視鏡手術、腹腔鏡下手術、手術支援ロボットダヴィンチ手術へと展開する、泌尿器内視鏡手術に積極的に取り組んでもらうこと。免疫チェックポイント治療薬をはじめとする、最新の薬物治療に携わること。さらに、comprehensiveな腎移植、小児泌尿器の治療と、泌尿器科のcutting edgeを体験してもらうことを主眼とします。



## ■ 耳鼻咽喉科

- 喉頭ファイバーで気道診断できる
- 気管切開が学べる
- 感覚器症状のプロになれる

耳鼻咽喉科・頭頸部外科の全領域にわたって研修が可能です。選択科目としての耳鼻咽喉科研修の最小単位は1か月ですが、3か月の研修を推奨します。スタッフによるガイダンス、小講義を受けたうえで、3人目の主治医として病棟診療業務や手術を研修します。外来業務では、医療面接や特殊外来における診療補助、検査等を行います。また、当教室主催の学会、研究会に参加するなど、学術的側面も研修に取り入れられています。



## ■ 眼科

- 様々な分野を経験できる
- 白内障手術を経験できる

当教室は県の中心的診療施設であり、最新の医療機器や手術機器を用いて治療・研究にあたっています。全分野に担当専門医が在籍しており、幅広い研修が可能です。特に緑内障分野は入院患者数や手術件数において国内3位、世界的にも知られる実績と歴史があり、国内で数少ない眼形成・腫瘍分野にも力を入れています。手術トレーニングでは、研修医や医学部生などと共に豚眼を用いた白内障手術実習（写真）から始まり、実患者の白内障手術や外眼部手術などに進むプログラムです。



## ■ 産科婦人科

- 婦人科腹腔鏡手術が修得できる
- 胎児エコーが修得できる
- 会陰切開縫合術が修得できる

当科では、年間約450件の分娩と400件以上の婦人科手術を行っています。産科では、経産分娩・帝王切開など積極的に関わり実践していただきます。また妊娠高血圧症候群・切迫早産・多胎妊娠等のハイリスク妊娠症例を入院主治医として担当します。婦人科においても良性・悪性疾患を問わず手術へ積極的に参加し、良性疾患では腹腔鏡下手術を中心として、また悪性疾患では化学療法・放射線療法の管理などを体得することができます。



## ■ 放射線科

- 放射線治療計画を体験できる
- 各種画像診断を経験できる

放射線診断科・放射線治療科では放射線診断と放射線治療の両方をそれぞれ1ヵ月以上、計2ヵ月以上を研修期間としています。1対1の指導によって、頭頸部から胸腹骨盤四肢まで全身の三次元的解剖学的知識と病態生理に基づく画像診断の基礎と、放射線腫瘍学に基づく放射線治療の基礎の習得を目指します。専門重点プログラムでは、上記の内容を徹底するとともに、将来の希望を見据えて診断、治療のいずれかに重心を置くことも可能です。



## ■ 高次救命災害治療センター

- 初期診療がマスターできる

救急研修では、救急車またはドクターヘリで搬送された傷病者の初期治療にあたります。対象疾患は、多発外傷や広範囲重症熱傷、急性中毒、急性循環不全や急性呼吸不全など様々です。緊急採血、静脈路確保を頻回に行い、必要に応じて気管挿管を含めた気道確保や中心静脈路確保も行う事ができます。傷病者の全身状態を生理学的兆候から把握し、安定化させることを実践的に学び、診断と治療を身につけることができます。



## ■ 麻酔科

- 術前評価が身に付く
- 基本的気道管理の習得
- 基本的な手技が身に付く

各種ラインを確保する、気道確保し呼吸管理をする、循環管理をする、苦痛を緩和する。危機に瀕した生命を救うために、また生活の質を向上させるために必須の技術である。麻酔科研修では、それらの知識や技術の基礎を習得できる。さらに術前診察、術中管理、術後診察の過程で、特定の領域にとらわれることなく、様々な病態やその管理方針について学ぶことができる。初期研修を通して、麻酔科の魅力を感じて頂ければ幸いです。



## ■ 総合リハビリテーションセンター

- 装具療法効果の実体験
- 神経学的、整形外科的、日常生活の評価法の習得
- リハ回復期病院での実習

当院では入院患者の約20%強がリハビリテーション診療を受けており、日本リハビリテーション医学会認定研修施設である。当センターでは整形外科、神経内科はもちろん、急性期 (ICU)、内部障害 (呼吸器・心臓)、がん、摂食嚥下などの専門的なリハビリを主治医と連携しながら行っている。それぞれについて研修指導が可能な専門医はリハビリ科4名、整形外科3名あり、呼吸リハ担当呼吸器内科医や摂食嚥下リハ担当歯科医との共同での指導も可能である。



## ■ 病理部

- 病理組織診断
- 細胞診断
- 術中迅速診断

病理部は中央診療部門の1つとして、各診療科の組織診断、細胞診断、術中迅速診断をおこなっています。当科研修では、病理組織診断、細胞診断、術中迅速診断を主体に予定しています。また、各科との検討会、解剖例のCPCにも参加します。さらに病理標本の作製法や染色法なども研修できます。幅広い臓器、疾患の研修に、病理部は適したものと思います。



## ■ 光学医療診療部

- 内視鏡検査がマスターできる

当診療部では原則的に消化管内視鏡に関する研修を実施します。上部消化管内視鏡検査が消化器内視鏡の基本であるため、上部消化管内視鏡検査の研修を最初に行い、その習熟度により、下部消化管内視鏡検査や内視鏡的治療などの研修が可能です。内視鏡診療のレベルは国内で高く評価されており、質と量を兼ね備えた研修を行います。なお、気管支鏡は呼吸器・感染症内科ないし呼吸器外科、喉頭鏡は耳鼻咽喉科の研修プログラムとなります。



## ■ 血液浄化療法部

- 透析で体液・電解質が学べる
- 腎臓病関連の合併症管理ができる
- 急性血液浄化ができる

血液透析を中心に腹膜透析、腎移植を含めた腎代替療法とその他血液浄化を研修する。血液透析は、透析条件の設定とその実施、バスキュラーアクセスの設置・管理と血液透析関連合併症の対応を行う。腹膜透析では、カテーテル留置、慢性管理、腹膜透析関連合併症への対応を行う。血漿交換や免疫吸着療法などの特殊治療や持続血液透析濾過など急性血液浄化など大学病院ならではの重症患者を管理する。主に腎臓病患者と関連疾患に関わることで、内科・外科的な全身管理を研修することができる。



## ■ 医科総合診療部

- 最初から外来新患を診察

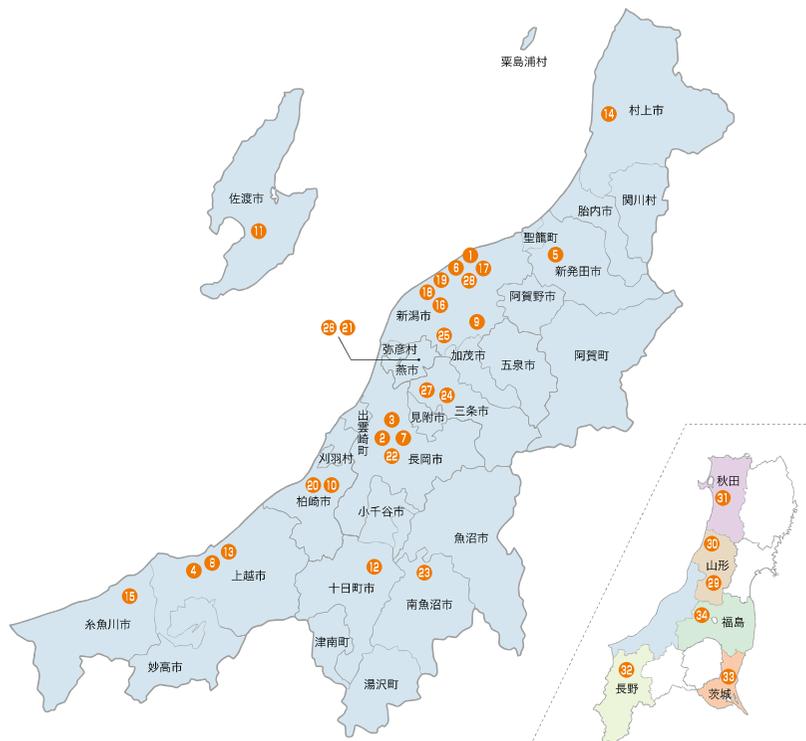
高度な専門医療が求められる一方、全人的医療を提供するという期待に応じ、平成13年度、総合診療部が開設された。病院長、スタッフ2名に地域医療学メンバーが加わり、地域医療にも対応できる広範囲の総合診療のトレーニングが可能である。最大の特徴は外来をファーストタッチから行うことである。初診患者の医療面接から、身体診察・各種検査オーダー・投薬治療など全てを行う。全てのステップにマンツーマンで指導するため、細やかな研修が可能となる。



# 協力型臨床研修病院紹介

多数の協力型臨床研修病院で、多彩な研修ができます。

## ■ 県内外34の協力型臨床研修病院で研修可能



協力型臨床研修病院一覧

【協力型病院】

- ① 新潟県立がんセンター新潟病院
- ② 立川総合病院
- ③ 長岡赤十字病院
- ④ 新潟県立中央病院
- ⑤ 新潟県立新発田病院
- ⑥ 済生会新潟第二病院
- ⑦ 厚生連長岡中央総合病院
- ⑧ 新潟労災病院
- ⑨ 下越病院
- ⑩ 厚生連柏崎総合医療センター
- ⑪ 厚生連佐渡総合病院
- ⑫ 新潟県立十日町病院
- ⑬ 厚生連上越総合病院
- ⑭ 厚生連村上総合病院
- ⑮ 厚生連糸魚川総合病院
- ⑯ 厚生連新潟医療センター
- ⑰ 木戸病院
- ⑱ 信楽園病院
- ⑲ 国立病院機構西新潟中央病院
- ⑳ 国立病院機構新潟病院
- ㉑ 新潟県立吉田病院
- ㉒ 新潟県立精神医療センター
- ㉓ 魚沼基幹病院
- ㉔ 厚生連三条総合病院
- ㉕ 新潟白根総合病院
- ㉖ 燕労災病院
- ㉗ 済生会三条病院
- ㉘ 新潟中央病院
- ㉙ 山形県立中央病院
- ㉚ 鶴岡市立荏内病院
- ㉛ 秋田赤十字病院
- ㉜ 長野赤十字病院
- ㉝ 水戸済生会総合病院
- ㉞ 竹田総合病院

## 協力型臨床研修病院 研修可能診療科一覧

病院名	内科	救急	外科	麻酔科	小児科	産婦人科	精神科
1 新潟県立がんセンター新潟病院	●		●		●	●	
2 立川総合病院	●	●	●	●	●	●	
3 長岡赤十字病院	●	●	●	●	●	●	
4 新潟県立中央病院	●	●	●		●	●	
5 新潟県立新発田病院	●		●		●	●	●
6 済生会新潟第二病院	●		●	●	●	●	
7 厚生連長岡中央総合病院	●		●	●	●	●	
8 新潟労災病院	●	●	●	●			
9 下越病院	●		●				
10 厚生連柏崎総合医療センター	●		●	●	●	●	
11 厚生連佐渡総合病院	●		●		●	●	
12 新潟県立十日町病院	●	●	●	●	●	●	
13 厚生連上越総合病院	●	●	●	●	●	●	
14 厚生連村上総合病院	●		●		●	●	
15 厚生連糸魚川総合病院	●	●	●	●	●	●	
16 厚生連新潟医療センター	●		●	●	●	●	
17 木戸病院	●	●	●				
18 信楽園病院	●		●				
19 国立病院機構西新潟中央病院	●		●		●		
20 国立病院機構新潟病院	●	●	●		●		
21 新潟県立吉田病院	●		●		●		
22 新潟県立精神医療センター							●
23 魚沼基幹病院	●	●	●	●	●	●	●
24 厚生連三条総合病院	●		●	●	●	●	
25 新潟白根総合病院	●						
26 燕労災病院	●	●	●				
27 済生会三条病院	●			●	●	●	
28 新潟中央病院			整形				
29 山形県立中央病院	●		●		●	●	
30 鶴岡市立荏内病院	●		●	●	●	●	
31 秋田赤十字病院	●	●	●	●	●	●	
32 長野赤十字病院	●	●	●	●	●	●	●
33 水戸済生会総合病院	●	●	●	●	●	●	
34 竹田総合病院	●		●				

協力型臨床研修病院紹介

病院名 | 病床数

※ 基は基幹型臨床研修病院

1 新潟県立がんセンター  
新潟病院 | 450床  
基

がんを一つの切り口とした全人的な医療を多職種によるチームで実践しています。診断から治療～終末期医療に至るまで多くの学びの機会があります。職員一同、皆さんと一緒に勉強できることを楽しみに待っています！



2 上川綜合病院 | 481床  
基

長岡市二次救急輪番3病院の一翼であり、災害ヘリも着陸可能な屋上ヘリポートを設置し、広域からの様々な救急を経験できる。心血管疾患患者の割合が多い。2016年に新築移転し、完全電子カルテとなり、設備アメニティーは充実。住宅手当あり。研修医一人ひとりと話し合いをしながら自由度の高いローテーションが組める。



3 長岡赤十字病院 | 649床  
基

当院は新潟県中越地区約50万人の医療圏の基幹病院で、県内随一の22科の専門科が開設されています。また、中越地区唯一の救命救急センターと周産期母子医療センターがあり、高度の専門医療から幅広くcommon diseaseまで、100名を超す専門医から指導を受けられます。



10 厚生連  
柏崎総合医療センター | 400床  
基

約10万人を診療圏とする病床数400床の地域基幹病院です。年間2,500台の救急搬送を受け入れ、また訪問看護ステーションも有し、急性期から慢性期のあらゆる側面を支えています。当院は科を超えて連携がスムーズで各部署もチームワークがよく、幅広く深くそして気持ちよく研修を積むことができます。



11 厚生連  
佐渡綜合病院 | 354床  
基

佐渡総合病院は佐渡地域における唯一の中核病院です。島内における救急車の85%以上が搬送されており、common diseaseから希な症例まで様々な症例を多数経験できます。また、東京大学病院などから年間約30名が地域医療研修に来ており、多施設の研修医同士で交流が持てます。



12 新潟県立  
十日町病院 | 275床  
基

研修医の感想：想像以上に忙しく、いくらでも忙しくさせてもらえる。研修医が少ないからこそ圧倒的な症例数、「判断」の数はどこにも負けない、内科が細分化されていないことが強み。あったかい雪国「とおかまち」にある地域密着型中核病院です。



4 新潟県立中央病院 | 530床  
基

救命救急センター、NICUを併設し、救急や周産期医療から小児医療の充実した研修ができます。また、地域がん診療連携拠点病院として豊富な症例を実践的に研修可能です。研修プログラムもニーズに合わせ柔軟に対応でき、オンデマンド研修が可能です。



5 新潟県立新発田病院 | 478床  
基

県立新発田病院は県北部唯一の救命救急センターを併設し救急車搬送は年間6000台を超え県内1、2の救急患者を扱っている。1次から3次までの多種多様な救急患者を発症頻度のままに診ることができるところから医師としての基本的診療能力の獲得に最適な環境である。



6 済生会新潟第二病院 | 425床  
基

新潟市西区にある中核総合病院です。急性期病院として二次救急に対応し、日常頻度の高い疾患から専門的医療を必要とする疾患まで幅広い疾患を経験することができます。Common diseaseをしっかり学びたい方はぜひ当院！



13 厚生連  
上越綜合病院 | 318床  
基

上越地域の急性期地域中核病院です。指導医も研修医も様々な大学出身者がおり、診療科間の垣根が低く、連携がとれています。卒後臨床研修評価機構(JCEP)認定病院でスタッフが一人丸となって人材教育に取り組みます。



14 厚生連  
村上綜合病院 | 263床  
基

県北の基幹病院として、保健・医療福祉の総合一体化に取り組んでいます。全ての診療科でマンツーマンの指導医を配し、適切な指導を行っております。救急医療研修、離島研修、緩和医療研修、介護医療研修、長岡中央総合病院と連携研修を行っております。



15 厚生連  
糸魚川綜合病院 | 261床  
基

年間700症例のERでのファーストタッチと臨床推論力を鍛えるためのカンファレンスが年間100回以上。外国人も含めた強力な院外講師による教育回診、ER実習も頻回です。糸魚川での賑やかな教育を10人近い研修医たちが日々楽しんでいます。



7 厚生連  
長岡中央綜合病院 | 531床  
基

①「豊富な症例数」で、②「walk inの総合診療」から、③「分化した専門領域」まで、④幅広く「ちょうどよく」経験できる指導体制で、⑤見ているだけじゃない「身体を使って経験する」研修が可能です。快適に疲れます。



8 新潟労災病院 | 360床  
基

当院は、上越医療圏における中核病院の一翼を担っており、地域医療及び夜間透析など労災病院の使命である勤労者医療に貢献しております。また、平成26年10月には回復リハ棟を開院し、地域医療ニーズにも対応しております。



9 下越病院 | 261床  
基

本院は新潟県臨床研修病院群の中で一番規模の小さな病院です。しかしそれは小回りの良さに繋がります。医局が一つの為科を超えたコンサルテーション力の習得、指導医・コメディカルと密接した研修…それがここにはあります。



16 厚生連  
新潟医療センター | 404床  
基

当院は、循環器疾患をはじめとした救急医療体制の充実から回復期リハビリテーションや緩和ケアに至るまで、急性期医療を中心に慢性期・在宅医療まで含めた幅広い領域で医療サービスの提供を行っております。



17 木戸病院 | 312床  
基

平成27年に新築移転した新潟市東地区の中核病院。①地域密度が高く、周辺に多くの医療福祉関連施設を有する。②糖尿病の患者数は県内トップクラスであり、密度の高い糖尿病研修が可能。③消化器疾患の紹介例がここ数年で倍増している。



18 信楽園病院 | 325床  
基

急性期から慢性期の医療まで幅広く学べる研修病院です。基本的な知識や技術の習得だけでなく、多職種と行うチーム医療を通じて、医師としての基本的な態度を身につけてほしいと考えています。6～8週間一つの診療科を研修し、診療科の選択は研修医の希望を尊重しています。



19 国立病院機構  
西新潟中央病院 400床

呼吸器系と神経系の専門病院で、内科系を中心に研修しますが、外科も希望科を選択できます。呼吸器系では肺がん、肺炎、結核など幅広い呼吸器疾患を、神経系では神経難病、パーキンソン病、てんかん等を中心に診察します。各科に複数の専門医がおり、豊富な症例を経験できます。



20 国立病院機構  
新潟病院 350床

国立病院機構新潟病院は神経内科と小児科の高度専門医療を行うとともに地域医療、救急医療、臨床遺伝、障害者医療にも力を注いでいます。豊かな自然の中、新しい病棟で最新医療機器を用いた充実した研修が可能です。



21 新潟県立吉田病院 199床

当院は小児慢性疾患病棟や消化器内視鏡センターを備えるなど、県央地域の中核病院として診療機能の充実に努めるとともに、地域の病院、診療所、介護施設及び救急隊との連携に力を入れ信頼関係を築いています。



28 新潟中央病院 262床

県庁隣に位置し、積極的な地域連携に取り組み。2016年度3,240件の手術実績を中心とした急性期治療を展開、整形外科では脊椎・上/下肢関節・手・足等の全領域に専門医が在籍、細かく機能分化し、最先端の治療提供を目指す。



29 山形県立中央病院 660床  
基

山形県の基幹病院として、高度先進医療、3次救急医療（ドクターヘリの基地病院）、生活習慣病の予防・悪性腫瘍の早期発見、周産期医療、終末期医療まで幅広い診療活動を行っています。



30 鶴岡市立荘内病院 521床  
基

当院の特徴は、(1)救急患者数が年間約17,000人と多く、救急症例を幅広く経験できること(2)手術件数が年間約2,800件で、基本的な手術手技、麻酔・救急蘇生技術を十分に習得できること(3)内科系はマンツーマン指導で、プライマリケアの習得には十分な症例があることです。



22 新潟県立  
精神医療センター 400床

当院は新潟県の基幹病院であり、児童精神科、精神科救急・急性期治療、重度かつ慢性期、アルコール依存症や司法精神医学などの専門的治療を軸に、多職種と連携しながら、良質な精神科医療を目指した密度の高い研修が可能です。



23 魚沼基幹病院 454床  
基

魚沼圏域の基幹病院として平成27年に開院し、主に急性期医療、救急医療及び高度専門医療を担うとともに、魚沼圏域の他病院等と連携し、一体となって地域完結型の医療に取り組んでいる。また、当院には新潟大学病院魚沼地域医療教育センターが設置され、地域医療に携わる医療人の育成にも力を注いでいる。



24 厚生連  
三条総合病院 199床

当院は、三条市、加茂市、燕市等県央地域を中心に約20万人の診療圏の中程に位置し、医療・福祉・保健活動を総合的に展開しており、特に地域で最大となる人工透析(55床)を行っております。また、MRI、CT、血管連続撮影装置等の設備を備えています。



31 秋田赤十字病院 480床  
基

当院は秋田県の政策医療(救命救急医療、神経難病医療、周産期医療)、地域災害医療センター、地域医療支援病院、エイズ拠点病院、がん診療連携拠点病院、臓器提供病院等の役割を担う秋田県中央部の基幹病院です。



32 長野赤十字病院 680床  
基

臨床研修の理念「人道、博愛、奉仕の赤十字精神のもと、医療チームの一員として患者中心の医療を実践し、将来の専門にかかわらず幅広い疾患・病態に対応できるプライマリ・ケアの診療能力を身につける」を実現すべく、努力しています。



33 水戸済生会総合病院 472床  
基

当院はドクターヘリとドクターカーを有する救命救急センターや、県立こども病院と隣接する総合母子周産期医療センターを有する水戸地域の基幹病院の一つです。プレホスピタルでの救助活動に携わることができ、また周産期医療や小児医療に関心のある人には絶好の環境です。



25 新潟白根総合病院 179床

2016年2月に病院を新築し、最新の医療機器を導入、さらに働きやすい環境を整備した。消化器、肝胆膵癌に対する手術、内視鏡的治療やIVR、抗がん剤治療を始め、透析治療、難治性神経疾患の診療など、幅広い地域医療を実践している。



26 燕労災病院 300床

燕労災病院は、平成35年開設予定の県央基幹病院に向けて、平成30年度、新潟県への移譲を予定しています。また、ハード面(MRIの更新等)・ソフト面(人材育成等)を含め、様々な診療機能の強化に取り組んでいます。



27 済生会三条病院 199床

当院は、ダ・ヴィンチサージカルシステムをはじめとした先端の医療に取り組みながら、一般急性期、二次救急及び地域医療を積極的に行っており、訪問看護ステーション、介護施設、保育園なども併設しております。



34 竹田総合病院 837床  
基

当院の臨床研修は外科・小児科・精神科・産婦人科も必修とした、広範な研修目標に対応できるプログラムとなっています。現場重視の実践的な内容で救急においては1〜3次までの多くの症例を経験することができます。



# 大学病院研修レポート

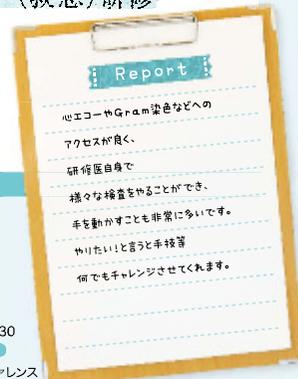
大学病院研修の一日をご紹介します。



# 協力型・地域医療研修

協力型病院は新潟県内県外含め充実の34病院、  
地域医療研修病院は16病院から多彩な研修が可能になっています。

## 高次救命災害 治療センター(救急)研修



### ■スケジュール Schedule



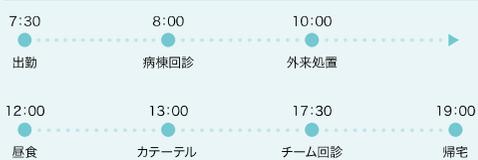
## 小児科研修

近藤 有希子先生  
金沢医科大学卒

■平成29年度研修医



### ■スケジュール Schedule



## ■特色豊かな協力型・地域医療研修病院は50病院から選べます

### ○協力型病院研修レポート

#### 信楽園病院



十分な症例数、手厚い指導



居城 甫先生  
新潟大学卒

■平成28年度研修医

研修開始して大学病院で救急科、リハ科の研修した後、信楽園病院で糖尿病・内分泌代謝内科、循環器内科、呼吸器・感染症内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科を6週間ずつ、計9ヶ月間研修させていただきました。当直は月2回あり、1年目は上級医とともに診察にあたり、2年目は1人でも対応します(困ったときは上級医に電話で相談できる環境です)。

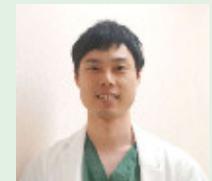
研修期間中は、基幹病院としての研修医が5名いましたが、研修医それぞれの研修科が重ならないように対応していただき、症例数も、上級医からの指導も十分に受けることができました。また図書室では文献検索を何度も対応していただき、1人1台電子カルテが使用できるため、自学自習する環境も整っており、とても充実した研修となりました。

### ○地域医療研修レポート

#### 佐渡市立両津病院



即戦力として地域医療を経験した  
充実の3ヶ月間



滑川 将気先生  
秋田大学卒

■平成28年度研修医

2年目の初めから3ヶ月間地域医療研修で佐渡の両津病院に行きました。小さな病院ですが、佐渡の地域を担う大きな役割を持っており、連日多くの患者さんの診療に携わりました。医師の数が少ないため、2年目の私も即戦力となり、外来や入院主治医、特別養護老人ホームの医務、往診など数多くの仕事を任せて頂きました。その中でも一番良かった点は、外来で診た患者さんの診断・

治療・退院・フォローアップといった一連の流れを自分で行うことができました。3ヶ月間という地域医療研修の期間が長い大学病院のプログラムだからこそできた研修だと思いますし、私の人生の中でも忘れられない経験となりました。

# 地域医療研修病院の紹介

多数の地域医療研修病院で、多彩な研修ができます。

# 教育指導体制

オリエンテーションや各種セミナーで手技や知識の習得をサポート。

## ■ 県内16の地域医療研修病院で研修可能



33 新潟県立妙高病院



34 新潟県立柿崎病院



37 新潟県立松代病院



39 新潟県立加茂病院



50 龜田第一病院



46 新潟臨港病院



49 新潟南病院



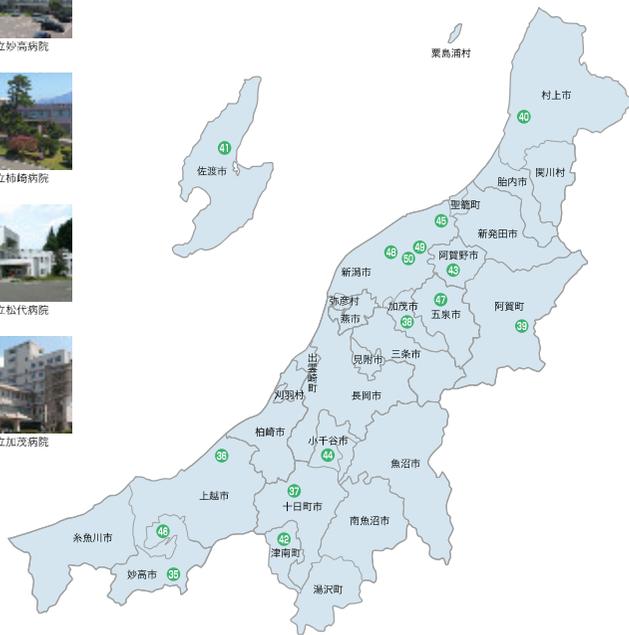
47 南部総合病院



48 厚生連いんか総合病院



45 厚生連豊栄病院



36 新潟県立津川病院



40 新潟県立坂町病院



41 佐渡市立南津病院



42 津南可立津南病院



43 厚生連あかの市市民病院



44 厚生連小千谷総合病院

### ■ ランチョンカンファレンス

研修医と医学科学生を対象に月2回金曜午後12時20分からの30分間ランチョンカンファレンスを開催しています。「救急疾患での各科対応」について、院内各専門領域のドクターに、その科に特有の疾患に対して、救急の現場でどの様に対応したらよいか、研修医として専門医を呼ぶ前に最低限これだけはやっておいて欲しいこと、などなど救急のエッセンスを、キッチリ30分で話してもらっています。参加者には軽食も用意しているので、忙しい昼食時に食事を取りつつ勉強にもなる、そんな一石二鳥のカンファレンスを目標としています。

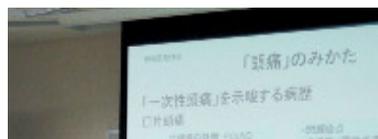
### ■ オリエンテーション

本院では4月に約1週間のオリエンテーションがあります。オリエンテーションでは実習を中心とした様々なプログラムが用意されております。



### ■ 研修医勉強会

月に1回研修医主体の勉強会を行っています。頻度の高い症状について総合的に知識を深めていけるように、ディスカッションしながら進めていきます。



● ICLS講習会  
医療従事者の為の蘇生トレーニングコースです。実技実習を中心としたコースで少数グループに分かれて実際に即したシミュレーション実習です。



● Advanced OSCE  
模擬患者さんに医療面接を行い、必要な技能と態度を理解するとともに、医療面接におけるコミュニケーションの重要性を理解するプログラムです。



● 採血練習  
採血練習や感染対策等の手技・実習もあります。

# 施設案内・サポート環境

新潟大学病院では最先端の医療設備とサポート環境を備えています！

## 施設案内

### ■ 高次救命災害治療センター(ドクターヘリ)

日本海側初の高次救命救急センターとして平成21年10月に20床で稼働を開始しました。多彩な専門医スタッフが集まり、責任ある救急診療と研修医指導を行っています。また、平成24年新潟県ドクターヘリの導入により県内各地から救急患者が搬送され、救急現場で早期の治療開始をすることが可能になりました。



### ■ 最新画像診断装置・治療機器

最新の画像診断装置や治療機器を導入し、早期発見、治療へつながることが期待されています。他にも最先端の医療設備を備え、高度な専門医を目指す研修医にとって、最適な研修施設です。



4D CT SOMATOM Force

PET/CT Biograph mCT Flow20

3T MRI Discovery 750w DV25



高精度放射線治療機 Novalis-Tx

ガンマナイフ

## サポート環境



### ■ 研修医室

研修医専用で病棟2階に位置し、病院内どこへでも動きやすい環境です。各自デスク(有線・無線LAN付き)、個人用メールボックスや共用パソコン・病院医療情報端末(電子カルテ)が設置されています。文献検索システムUp To Date、電子ジャーナルPubMed等学習ツールが院内で使用可能です。



### ■ 休憩室

研修医専用の休憩室です。図書や学習用DVDを揃えており、勉強したり談笑したり寛ぎスペースです。冷蔵庫・電子レンジ等の設備もあり食事もとれます。



### ■ 更衣室

男女別で各自ロッカーとシャワールームが完備されています。更衣室のランドリーボックスに白衣を入れておけば、無料でクリーニングいたします。



### ■ 総合臨床研修センター

西病棟2階の研修医室隣に、総合臨床研修センターが設置されています。大学院各診療科や協力型臨床研修病院との調整や、研修評価の取りまとめなどを行っています。また、すべての研修期間における研修医の悩みや、苦悩、相談にも応じています。研修医の皆さんが研修に専念できるように、福利厚生を含めた種々の事務手続きを行うと共に、口頃の郵便物の配布や業務を担当しています。



### ■ 図書館

医歯学図書館(旭町分館)は病棟の隣に位置し、多数の医学分野の蔵書やデータベース、電子ジャーナルを利用出来ます。平日は8時から22時まで利用可能。



### ■ 食堂

病棟12階に病院レストランと職員食堂があります。



### ■ 銀行ATM

病棟1階に第四銀行とゆうちょ銀行のATMがあります。



### ■ 書店

病棟1階の書店では医学書の注文可能で、研修医室まで届けてもらえます。



### ■ アメニティモール

平成26年4月外棟前にオープンしました。コンビニ(ローソン)、コーヒーショップ(タリーズコーヒー)、レストラン(Dining ASAHI)、美容院、薬局が入っています。

# 新潟医療人育成センターの紹介

# 研修医処遇・奨学金

## ■ 新潟医療人育成センター

新潟医療人育成センターでは、高度の医療技術を身につけるための様々な高度医療シミュレータを整備し、内視鏡、血管造影、エコーなど研修医が身につけるべき手技のシミュレータも24時間利用可能です。  
年間を通してシミュレーション教育の様々なセミナーや世界のトップランナーを招いての講演会などが開催され、研修医の皆さんの知識と技術の向上を強力にサポートします。



### 【主なシミュレーター一覧】

- ・気管支、上部・下部消化管内視鏡シミュレータ
- ・血管内治療トレーニングシミュレータ
- ・心臓・腹部超音波検査トレーニングシミュレータ
- ・内視鏡手術トレーニングシミュレータ
- ・内視鏡手術フィジカルトレーニングシミュレータ
- ・腹腔鏡トレーニングシステム
- ・胸腔鏡手術シミュレータ
- ・腹腔鏡下手術シミュレータ
- ・高機能患者シミュレータ [成人モデル、小児モデル]



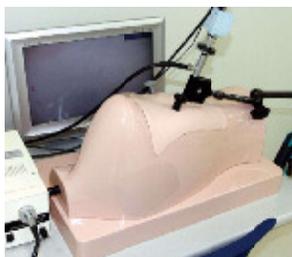
■ 高機能患者シミュレータ 成人モデル



■ 内視鏡手術フィジカルトレーニングシミュレータ iSim™



■ 腹腔鏡下手術シミュレータ Lap-PASS™



■ VATSトレーナー



■ 気管支、上部・下部消化管内視鏡シミュレータ GI Mentor II™



■ 血管内治療トレーニングシミュレータ VIST™

## 【研修医の処遇】

● 本院での処遇(国立大学法人新潟大学非常勤医師就業規程による)

1. 常勤・非常勤の別	非常勤(臨床研修医)
2. 給与	日給額:9,100円 臨床研修手当:週30,000円(週5日勤務の場合) ただし、協力型施設等勤務の期間は各施設の処遇とする。 (アルバイトをせず臨床研修に専念する)
3. 勤務時間	1日7時間45分、週5日勤務
4. 休暇	年次有給休暇有り(半年経過後10日付与)
5. 時間外勤務及び当直	あり
6. 宿舎	なし(病院周辺に民間アパート多数あり)
7. 研修医室	あり(インターネット利用可能)
8. 社会保険・労働保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労働者災害補償保険適用あり
9. 健康管理	健康診断(年1回)
10. 医師賠償責任保険	個人加入(強制)
11. 外部の研修活動	あり(学会・研究会等への参加費交通費等の支給あり)
12. 産休	可(産前産後、育児休暇数名の実績あり)
13. 駐車場	あり(片道2km以上の希望者、月額1,030円のみ自己負担あり)



## 【奨学金について】

● 新潟県・新潟医学振興会より、将来新潟県内の医療機関で勤務する意欲のある初期臨床研修医対象の臨床研修医奨学金制度があります。

応募資格:新潟県内で卒後臨床研修を受ける研修医で、研修終了後、新潟県内で医師として勤務する人

募集人数:13名(予定)

支給期間:卒後臨床研修の2年間

支給金額:2年間合計120万円(月額5万円)

奨学金の種類:給与奨学金(返還義務なし)

ただし、卒後臨床研修期間内に新潟県での研修を打ち切った人、あるいは、研修終了後、新潟県内で医師として勤務しなかった人には、返済の義務が生じます。



## 新潟大学病院 女性医師サポート

研修と育児を両立することを全面的にサポート。  
女性医師のキャリア形成を応援します。



## 専門研修へのつながり

医師キャリア支援センターは専門研修を行う先生方のキャリア形成の支援をしています。

研修期間中の産休・育休制度も整備されており、数名の研修医の方が取得しております。  
妊娠中や復職の相談や研修スケジュールの調整等、研修センターが全面的にサポートします。

### 子育て支援

医師の先生方の仕事と家庭の両立をサポートするためにさまざまな制度を設けています。

- 院内保育園（あゆみ保育園）
- ベビーシッター割引制度

### 体験レポート

入月 浩美先生  
■ 平成20年度研修医

平成21年12月第1子出産し、平成22年3月初期研修修了。平成22年4月新潟大学小児科入局し、半年間育児休暇取得。平成25年4月より新潟大学小児科大学院生になり、平成25年7月第2子出産、10月仕事復帰。2人のお子様は院内保育園に預けています。

研修医期間中に出産されましたが、  
研修は大変でしたか？

妊娠が分かった時には協力型病院研修中でしたが、すぐに指導医の先生に言いました。まずは放射線を扱う業務は避ける必要があったからです。外科研修中で指導医は男性の先生ばかりでしたが、とても配慮していただいたので夜の呼び出しや当直をなくしていただきました。妊娠後期は精神科や入局予定の小児科でしたので、身体の負担も少なく研修出来ました。2年間で研修修了するには90日以上休めない為、産休に入る時期も考えました。研修医2年目の12月に産休に入り、2年間で研修を無事修了出来ました。



入局してからはいかがでしたか？

初めての子育てをしながらの入局でしたので大変でした。勉強もしたいし、研究にも没頭したい時期なのでどこかしらもありました。今後のキャリアや家庭との両立等不安もありましたが、その日暮らして何とかなるものです。研修修了後、小児科に入局し育児休暇を取得して半年遅れで仕事を始めましたが、この半年間で自分のキャリアが遅れたとは感じていません。周りのサポートや子供に励まされて何とかやっています。

これから研修医になる人にひとこと

それぞれやりたいことがあると思いますが、やりたいことを妥協しないで下さい。  
育児をしながら仕事をするには強い意志が必要です。でも子供は私の人生を豊かにしてくれているし、私の強みにもなっていると感じています。

## ■ 新専門医制度に対応した専門研修プログラム

本院では、新専門医制度に対応した基本領域専門医19領域すべてにプログラムがあり、すべての領域に対応できるのは、新潟県内では本院のみとなります。また、より専門性の高いサブスペシャリティ領域専門医のコースにも対応しています。

### 基本領域専門医（19領域）

- 総合診療
- リハビリテーション科
- 形成外科
- 救急科
- 臨床検査
- 病理
- 麻酔科
- 放射線科
- 脳神経外科
- 泌尿器科
- 耳鼻咽喉科
- 眼科
- 産婦人科
- 整形外科
- 外科
- 精神科
- 皮膚科
- 小児科
- 内科

新潟大学医歯学総合病院と県内多数の関連医療機関を循環するきわめて多彩なプログラムから選択できます。関連医療機関とのネットワークが形成されている為、専門領域における一般的な疾患の十分な研修が可能であり、高度な専門医療を目指そうという方にも将来地域医療にかかわりたいと考える方にも充実した研修ができます。海外留学をしたい、博士号を取得したい、など多彩な目的に対応しています。また、研修の一環として社会人特別選抜での大学院入学、当院・関連医療機関での臨床研究による大学院卒業での学位取得が可能です。その際、大学院生で大病院の臨床に従事する場合、医員としての身分が保証されます。

医師キャリア支援センターは、卒業臨床研修を終えた皆さんのさらなるキャリアアップをサポートしています。  
皆さんが質の高い専門医や臨床研究者を目指して、将来に希望を持ち安心して研修に専念できることを目標としています。

● 医師キャリア支援センター <http://www.nuh.niigata-u.ac.jp/career/>



# Q & A

## Q1 専門的な症例ばかりで、一般的な症例を経験できないのでは？

**A.** 新潟大学病院では、専門的な症例だけでなく、一般的な症例も多く経験することができます。また、当院の研修プログラムでは、大学病院を1年間、協力型・地域医療研修病院を1年間経験します。大学病院では最先端の医療・医学に触れることができるほか、学会への参加や研修医勉強会やセミナーなどの、アカデミックな研修を送ることができます。協力型・地域医療研修病院では、多くのcommon diseaseに触れることができ、十分な経験を積むことができます。

## Q2 県外の大学出身なのですが、孤立しないか不安です…

**A.** 当院の研修医は他県の大学出身の方も多く、新しいプログラムでは、研修が始まってから6ヶ月間をともに大学病院で過ごすため、研修医の間での連帯感も生まれます。

## Q3 専門研修とのつながりはどうなっていますか？

**A.** 当院は基本領域である19診療科が全て備っており、どの診療科であっても初期研修から専門研修にスムーズに入ることができます。初期研修修了後に継続して専門研修に移ることも可能です。年によって異なりますが、毎年8~9割の初期研修医の先生が、そのまま専門研修プログラムに進んでいます。

## Q4 病院見学はできますか？

**A.** 病院見学は随時受け付けております。当院の総合臨床研修センターのホームページ内の申込フォームをご入力いただいた上で、希望日の2週間前までにご連絡ください。日程は1日から受け付けております。実際に見学することで、臨床研修のイメージがより明確になりますし、研修病院選びにもきっと役立つことと思います。また、病院見学が採用の可否に関わることはありません。

## Q5 研修医の先生たちの様子がもっと知りたいです！

**A.** 当院臨床研修センターのフェイスブックのページ (<https://www.facebook.com/niigatakensyu/>)では、研修医の普段の生活の様子を紹介しています。ぜひ1度覗いてみてください！

## Q6 研修したい診療科を途中で変更することは可能ですか？

**A.** 可能です。大学病院内での研修であれば、変更したい診療科での研修が始まる2ヶ月前までに、総合臨床研修センターにご連絡ください。また、協力型病院での研修では、その病院と各自で相談して決めてください。

## 交通機関のご案内

### ACCESS MAP

## 新潟は全国からのアクセスもバッチリ！



## NIIGATA CITY

新潟駅・古町・万代・市役所・りゅうとびあ・陸上競技場・新潟市内中心街に非常に近い好立地です。



■新潟駅(万代口バスターミナル)からバス利用  
 ◆「新潟大学病院」バス停で下車(外来診療棟前ロータリー前)  
 ◆「市役所」バス停で下車(本院まで徒歩3分)  
 ◆4番のりばから出発する【新大病院線】  
 ◆0, 1, 5, 6番のりばから出発する市内バス及び8番のりばから出発する【島屋野線】  
 ※4番のりばは【新大病院線】以外では本院にアクセスできません。  
 ※8番のりばは【島屋野線】以外では本院にアクセスできません。